

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめの一步”部門」
まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	まちとアートの出会いによる継続的な長者町界隈の魅力発信		
団体名	長者町アートアニュアル実行委員会		
提案の活動を行う地域	長者町界隈(名古屋市中区錦二丁目)		
提案の内容	<p>戦後、日本三大繊維街のひとつとして発展し、繊維問屋街のイメージが強い長者町は、10年前よりシャッターペイントや建物のリノベーションプロジェクト、各種まちづくり会合などを通し、そのイメージは多様化しつつあります。</p> <p>とりわけ、一昨年（2010年）に行われたあいちトリエンナーレ2010では「アートなまち」としての一面を強くアピールし、新たなまちの魅力発信へとつながりました。</p> <p>この「アートなまち」のイメージを定着させていくために、昨年（2011年）に引き続き、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. まちとアートの出会いを継続していくこと 2. まちの魅力の再発見・再創造をしていくこと 3. 年間を通じ長者町界隈ならではのアートを発信していくことを目的に各事業を行います。 <p>具体的には、</p> <p>季節ごとに実施する、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 長者町界隈シャッター・壁面ペイント 2. 長者町界隈まちかどアート 3. 長者町界隈アートマップ <p>年に一度実施する、</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 長者町ゑびす祭りでの山車（作品）の運行、アートイベント <p>年間通じて実施する、</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 広報、情報発信 <p>以上の5本柱で実行していきます。</p> <p>また、これらのプロセスにおいて、まちとアートの出会いだけでなく、長者町で活動する他団体とまちを結ぶプラットフォームの役割をも果たしていきます。</p>		
活動期間	平成24年4月～平成25年3月	助成金交付申請額	50万円

2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(提案活動の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。</p>	
<p>あいちトリエンナーレ 2010 でまちなか会場となった長者町は、愛知県、地元企業、まちづくり団体、サポーター、ボランティア、来場者など多様な主体が協働することで、アーティストにとってはダイナミックな作品制作を展開することができ、まちにとっては、隠された魅力の発見と再創造につながりました。</p> <p>しかし、トリエンナーレは3年に1回。まちとアートの相乗効果を一過性のものにしてしまうのではなく、2010年とトリエンナーレ後の1年間の経験と関係性を活かし、市民が自主的に継続してまちの魅力発信への仕掛けを行うことで、日常的なものにしていきたいと考えています。</p>	
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
<p>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p>	
<p>一日だけのにぎわい創出を目的としたアートまちづくりではなく、定期的に継続してアート作品や大小の関連イベントを行ったり、アーティストがまちに日常的に滞在できる環境をつくり育むことで、「いつ来ても、何か変化が起きている魅力的なまち」を創出します。</p> <p>また、アート作品マップや解説パネルを通して、来街者（とりわけ若者）がまちを歩くことで、まちのもつ歴史や文化へと関心の幅を広げられる土壌をつくり、多様な「長者町ファン」を生み出していきます。</p>	
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・事業予算は妥当か
時期	活動内容
平成24年4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 平成25年1月 2月 3月	イベント実施にむけた各種調整、会議 アートとまちのイベント「真夏の長者町大縁会」の開催（歩行者天国） イベント実施にむけた各種調整、会議 長者町あびす祭りでのアートイベントの開催、マップ配布 2012年に新たに増えた作品のパネル制作、アートマップ作成 成果報告書の作成、アーカイブ化

情報発信



助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳		金額(円)
1. シャッター・壁面ペイント	諸謝金 消耗品費 印刷費	作家協力費(3~4名) 塗装、養生費、制作費 イベントちらし印刷代	200,000 150,000 50,000
2. まちかどアート	雑費	イベント保険ほか	30,000
3. アートMAP	印刷費	パネル制作代 MAP印刷代	50,000 30,000
4. 山車運行、アートイベント	諸謝金 雑費 会場費	作家協力費、スタッフバイト代 山車修繕・維持費 テント使用料ほか	80,000 350,000 20,000
5. 情報発信	通信交通費 印刷費	HP制作、管理費 報告書2012印刷代	40,000 300,000
計	都市センター助成金 500,000円 自己資金 800,000円(繰越51,860,寄付金754,000)		1,300,000

審査基準④ 発展性
・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

昨年度の活動で培ったまちの地元組織(組合や町内会)と愛知県文化情報センター、あいちトリエンナーレサポーターズクラブや大ナゴヤ大学、愛知工業大学などとの協働関係を生かし、本年度はそれら団体の間をつなぐプラットフォームとしてより機能し、イベント等のソフト面だけでなく、今後のハード面の環境整備も視野にいたした団体運営をしていきます。
また、まちに残され、毎年生み出されているアート作品が少しずつまちや来街者の財産になっていくことや作品をつくるアーティストがまちに滞在できる環境づくりを推進することで、長者町界隈に頻繁に来てみたいと思えるような魅力づくりをまちのブランディングへとつなげていきます。

審査基準⑤ 活動実績と主体性
・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)
・具体的にどんな熱意を注いでいるか

※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。

※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。
この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。

長者町アートアニュアル実行委員会は、あいちトリエンナーレ2010終了直後の11月下旬、継続的なアートまちづくりを推進するためにまちの有志で結成された任意団体です。2011年は、季節ごとのイベントとして「春のぶらり長者町アート散歩」を行い、作品第一号の公開と残されている作品めぐりを実施。夏はトリエンナーレ開幕から一年後にあたる日に、長者町で活動する多様な団体と「真夏の長者町大縁会」(歩行者天国)を共催。秋には地元の祭り「長者町ゑびす祭り」にて山車(作品)を運行するほか、アートワークショップを実施、冬には作品をまちかどウィンドウに展示した。一方年間を通じ、アーティストの制作空間「長者町スタジオ」を実験的にスタートするなど、イベント開催からプラットフォームづくりに至るまで各団体と協働しながら、多様な役割を担おうとしています。

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とします。